

別紙 学会発表

1. 岩崎幹季, 頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術後の頸部痛と頸椎 alignment の関係. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 26 年 4 月京都)
2. 藤森孝人, Hai Le, 岩崎幹季ほか. 米国サンフランシスコにおける CT を使用した頸椎後縦靭帯骨化の有病率. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 26 年 4 月京都)
3. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. 頸椎後縦靭帯骨化症の骨化巣における軟骨細胞分化・肥大に関する遺伝子学的検討. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2014.4), 京都
4. 平野徹, 頸椎後縦靭帯骨化症自然経過例の骨化巣体積増加危険因子 - CT を用いた三次元解析による検討 -. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会, 2014 年 4 月, 京都.
5. 川口善治, 安田剛敏, 関庄二 他. 脊椎靭帯骨化症患者における全脊椎骨化巣の評価, 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.18、京都
6. Zenya Ito. Monitoring of Adolescent Spinal Deformity - Multi-Center Survey by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research -. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~4.19) 京都
7. 小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一：ハイリスク脊椎脊髄手術における術中神経合併症，第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~4.19) 京都
8. 小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一：術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究，第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~19) 京都
9. 山田圭、小林祥、長濱賢、田所伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、松山幸弘：側弯症手術の脊髄モニタリングのアラームポイント～日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会多施設前向き研究～，第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (2014.4.17~19) 京都
10. Sho Kobayashi, Yukihiro Matsuyama, Shigenori Kawabata, Muneharu Andou, Zenya Ito, Takanori Saitou, Yasushi Fujiwara, Tsukasa Kanchiku, Masahito Takahashi, Akio Muramoto, Yasushi Fujiwara, Kazunobu Kida, Kei Yamada, Kanichiro Wada, Naoya Yamamoto, Toshikazu Tani. Alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potential for intraoperative spinal cord monitoring in patients with paralysis. Cervical Spine Research Society Asia Pacific (2014.4.4~4.6) Ho Chi Min

11. Koda M ほか. Dropped head syndrome after cervical laminoplasty: a case control study. The 5<sup>th</sup> annual meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific section, Ho Chi Minh, Vietnam, 2014.4.
12. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. 頸椎 OPLL の骨化前線における軟骨細胞分化肥大に関する転写因子のマイクロアレイを用いた検討. 第 122 回中部日本整形外科学会・学術集会 (2014.4), 岡山
13. Hiroshi Kitoh, Hiroshi Kaneko, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Early and late fracture following lower limb lengthening. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2014.4.30-5.3 (Los Angeles)
14. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Hiroshi Kaneko, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro. Meclozine facilitates proliferation and differentiation of chondrocytes by attenuating abnormally activated FGFR3 signaling in achondroplasia. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2014.4.30-5.3 (Los Angeles)
15. 柏井将文、松尾庸平、杉浦剛ほか. 後縦靭帯骨化症患者における骨形成抑制蛋白 Sclerostin/Dkk1 を中心とした骨代謝動態解析 .第 87 回日本整形外科学会学術集会(平成 26 年 5 月神戸)
16. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一：麻痺患者における術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント, 第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22~5.25) 神戸
17. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、木田和伸、山本直也、齊藤貴徳、谷俊一：術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究, 第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22~5.25) 神戸
18. 山田圭、小林祥、長濱賢、田所伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、関庄二、松山幸弘：側弯症手術における脊髄モニタリングのアラームポイントの検討-日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き調査、第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22~5.25) 神戸
19. 伊藤全哉, 松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一 .胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術において術後麻痺を防ぐには? -全国多施設調査-. 第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22~5.25) 神戸
20. 藤森孝人、Le Hai、Chin Cynthina ほか. アメリカ、サンフランシスコにおける頸椎

- 後縦靱帯骨化の有病率．第 87 回日本整形外科学会学術集会（平成 26 年 5 月神戸）
21. 岩崎幹季．頸椎後縦靱帯骨化症診療ガイドライン．第 87 回日本整形外科学会学術集会（平成 26 年 5 月神戸）
  22. 森 幹士、笠原俊幸、西澤和也、西川淳一、今井晋二、松末吉隆．当院胸部 CT 受験者からみた胸椎後縦靱帯骨化症の有病率 第 87 回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2104 5 22-25．
  23. 高畑雅彦，胸椎後縦靱帯骨化症の術後長期的予後 術後 10 年以上経過例からの機能予後，生命予後の検討 ，第 87 回日本整形外科学会，2014 年 5 月，神戸．
  24. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、石黒直樹． 骨髄幹細胞を用いた骨延長術．第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）シンポジウム
  25. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、石黒直樹． 培養骨髄細胞と PRP の移植を併用した骨延長術． 第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）シンポジウム
  26. 鬼頭浩史、金子浩史、三島健一、松下雅樹、西田佳弘、石黒直樹． 下肢骨延長後の骨折に関連する因子． 第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）
  27. 中原康雄、吉川二葉、正田奈緒子、真野浩志、井口はるひ、四津有人、野口周一、緒方直史、芳賀信彦：進行性骨化性線維異形成症患者の症状経過と身体機能． 第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会，2014.6.5-7，名古屋
  28. 江口 清，久保田茂希，有安諒平，上野有希子，中田由夫，門根秀樹，松下明，五月女康作，坂根正孝，山海嘉之，脊髄障害患者のリハビリテーションにおける装着型ロボットの応用．第 51 回日本リハビリテーション医学会（名古屋），6 月，2014
  29. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹． 当科における不安定型大顎骨頭すべり症の治療成績 第 53 回小児股関節研究会．2014.6.20-21（滋賀）
  30. 森 幹士．多機能幹細胞を用いた機能解析．後縦靱帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究 Kickoff meeting（厚生労働省科学研究委託業務 難治性疾患実用化事業）東京 2014，7，5
  31. K Yamada, Y Matsuyama, S Kobayashi, K Nagahama, K Wada, A Muramoto, N Tadokoro, T Kanchiku, H Iwasaki, S Seki, Y Hirao, A Saruwatari, M Ando, N Yamamoto, S Sumiya. Evaluation of the Alarm Criteria of Transcranial Electrical Stimulation Muscle Evoked Potential in Spinal Corrective Surgery for Different Clinical Diagnosis of Scoliosis: Multi-Institutional Survey by the Monitoring Committee of The Japanese Society for Spine Surgery. 20<sup>th</sup> International Meeting on Advanced Spine techniques (2014.7.16~7.19)Valencia
  32. S Kobayashi, Y Matsuyama, K Sinomiya, S Kawabata, M Ando, T Kanchiku, T Saito, M Takahashi, Z Ito, A Muramoto, Y Fujiwara, K Kida, N Yamamoto, K Satomi, T Tani. Alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potential

- for intraoperative spinal cord monitoring in patients with paralysis. 20<sup>th</sup> International Meeting on Advanced Spine techniques (2014.7.16~7.19) Valencia
33. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine による FGFR3 シグナル抑制効果の in vivo における検討. 第 32 回日本骨代謝学会 2014.7.24-26 (大阪)
  34. 伊藤全哉, 松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、小林祥、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一朗、山本直也、里見和彦、谷俊一. 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における術後麻痺の要因 -全国多施設調査-. 日本インストゥルメンテーション学会 (2014.8.30~31) 浜松
  35. 杉浦洋、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 複数回の補正手術を要し治療に難渋した外傷性脚長不等の成人例. 第 237 回東海整形外科集談会 2014.9.20 (名古屋)
  36. Koda M, ほか. Mid- to long-term outcomes of posterior decompression with instrumented fusion for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament. The 53<sup>rd</sup> annual scientific meeting of International Spinal Cord Society. Maastricht, Netherland, 2014.9.
  37. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine はオフラベル効能により FGFR3 シグナルを抑制し骨伸長を促進する. 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 2014.10.9-10 (鹿児島)
  38. 久保田茂希, 江口 清, 中田由夫, 有安諒平, 上野有希子, 上林清孝, 河本浩明, 坂根正孝, 山海嘉之, 山崎正志, 慢性期不全脊髄損傷におけるロボットスーツ HAL を用いたりハビリテーションの影響, 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会(鹿児島), 10月, 2014.
  39. 八幡健一郎、小澤浩司ほか脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による VEGF 発現と神経保護作用の検討 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 鹿児島, 10月, 2014.
  40. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. メカニカルストレスはヒト OPLL においてインディアンヘッジホッグ (Ihh) とその受容体の発現増加を促進させ軟骨細胞の成長を進行させる. 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 (2014.10), 鹿児島
  41. 久保田茂希, 江口 清, 中田由夫, 有安諒平, 上野有希子, 河本浩明, 坂根正孝, 山崎正志, 山海嘉之, 医工連携によるロボットスーツ HAL の臨床応用への取り組み, つくば医工連携フォーラム 2014 (つくば), 10月, 2014.
  42. 北村暁子、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、石黒直樹. 手術加療を要した oblique talus の 1 例. 第 18 回東海足と靴の研究会 2014.10.25(名古屋)
  43. Sugita D, Uchida K, Nakajima H, Watanabe S, Yoshida A, Baba H. Indian Hedgehog signaling induces hypertrophy and differentiation of chondrocytes in the ossification front of human cervical OPLL. Euro Spine 2014 October, Lyon,

France.

44. Kentaro Yamane, Masato Tanaka, Yoshihisa Sugimoto, Shinya Arataki, Tomoyuki Takigawa, Toshifumi Ozaki, Modified Open-door Laminoplasty Decreased the Incidence of Lamina Closure -Comparison of Modified and Traditional Open-door Laminoplasty. 8th Asia Pacific Cervical Spine Meeting 2014.11.13-15.
45. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹. 先天性股関節脱臼に対する選択的リーメンビューゲル法による短期治療成績 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
46. 三島健一、鬼頭浩史、門野泉、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. Ponseti 法における初期治療の重要性 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
47. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Systemic administration of meclozine is a potential therapeutic strategy for FGFR3 related skeletal dysplasias. 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
48. 長谷川幸、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子. 骨系統疾患による下肢変形に対する 8 plate の使用経験 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
49. 北村暁子、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、石黒直樹. 発育性股関節形成不全症における臼蓋形成の自然経過 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
50. 門野泉、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、杉浦洋、北村暁子、石黒直樹. 軟骨無形成症に対する下肢骨延長術に伴う下肢関節可動域制限 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
51. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 頭蓋鎖骨異形成症における新規遺伝子変異と機能解析. 第26回日本整形外科学会骨系統疾患研究会 2014.11.28 (千葉)
52. 藤井賢吾, 安部哲哉, 中山敬太, 坂根正孝, 上野友之, 久保田茂希, 丸島愛樹, 山崎正志, 胸椎後縦靭帯骨化症に対する HAL を用いたリハビリテーション, 第16回茨城県脊髄・脊椎研究会(つくば), 11月, 2014
53. 森 幹士. 胸部 CT からみた胸椎 DISH の有病率. 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業【脊柱靭帯骨化症に関する調査研究】平成26年度第2回班会議 東京 2014, 11, 29.
54. 藤井賢吾, 安部哲哉, 山崎正志, 胸椎 OPLL に対する HAL®(ロボットスーツ)を用いたリハビリテーション, 【脊柱靭帯骨化症に関する調査研究】【後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】平成26年度第2回班会議(東京), 11月, 2014.
55. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、石黒直樹、大野欽司. 乗り物酔い止め OTC 薬 meclozine

- は FGFR3 シグナルを抑制して軟骨無形成症の低身長をレスキューする. 第 32 回小児代謝性骨疾患研究会 2014.12.6 (大阪)
56. 小林祥, 長谷川智彦, 大和雄, 安田達也, 大江慎, 山田智裕, 中井慶一, 戸川大輔, 松山幸弘, 術中脊髄機能モニタリングにて神経障害が予知可能であった症例, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
  57. 小林祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田圭, 和田簡一郎, 山本直也, 木田和伸, 谷俊一, 高リスク脊椎手術における Br(E) -MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
  58. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 川端茂徳, 寒竹司, 木田和伸, 小林祥, 藤原靖, 山田圭, 山本直也, 和田簡一郎, 谷俊一: 胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには? 麻痺を呈する操作及びアラームポイント全国多施設研究, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
  59. 三島健一、鬼頭浩史、門野泉、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 脚延長術を行った線状限局性強皮症の 1 例. 第 30 回東海小児整形外科懇話会 2015.2.14 (名古屋)
  60. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine はオフラベル効能により FGFR3 シグナルを抑制し軟骨無形成症の根本的治療薬となりうる. 第 28 回日本軟骨代謝学会 2015.3.6-7 (東京)
  61. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、石黒直樹. 骨髄由来間葉系幹細胞の先天性骨疾患への応用 第 14 回日本再生医療学会 2015.3.20 (横浜) シンポジウム
  62. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 河本浩明, 山崎正志, 変形性膝関節症術後患者に対する単関節 HAL を用いた運動器リハビリテーション  
第 1 回つくばロボットスーツ HAL シンポジウム (つくば), 3 月, 2015.
  63. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno. Meclozine enhances skeletal growth in transgenic achondroplasia mice with a constitutive active FGFR3 mutation. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2015.3.28-31 (Las Vegas)
  64. Kenichi Mishima, Hiroshi Sugiura, Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno. Promoting in vivo osteogenesis using Lansoprazole. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2015.3.28-31 (Las Vegas)
  65. Zenya Ito, Yukihiro Matsuyama, Kenichi Sinomiya, Shigenori Kawabata, Muneharu Ando, Tsukasa Kanchiku, Takanori Saito, Masahito Takahashi, Sho Kobayashi, Yasushi Fujiwara, Kazunobu, Kida, Naoya Yamamoto, Kazuhiko Satomi, Toshikazu Tani. Factors of Postoperative Paralysis from Thoracic Ossification of Posterior Longitudinal Ligament (OPLL) Surgery - Nationwide

Multi-Institution Survey -. AAOS (2015.3) Las Vegas

66. Masao Koda ほか. Outcome of posterior decompression with instrumented fusion for thoracic ossification of the longitudinal ligament. The 6<sup>th</sup> annual meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific section, Yokohama, Japan, 2015.3
67. Fujii K, Abe T, Kubota S, Nakayama K, Miura K, Sankai Y, Yamazaki M Efficacy of Voluntary Driven Exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) in Patients with Chronic Cervical Spinal Cord Injury. 6th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section (Yokohama), March, 2015
68. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. ヒト頸椎 OPLL におけるメカニカルストレスが骨化前線部の内軟骨骨化に関与する転写因子に与える影響の検討. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2015.4), 福岡
69. 松本富哉、奥田真也、前野考史ほか. 頸椎硬膜内外傷性神経腫の 1 例 . 第 124 回中部整形外科災害外科学会 (平成 27 年 4 月金沢)
70. 森 幹士, OPLL, OLF, DISH の頻度と関連性 - 胸部 CT 受験者からみた胸椎靭帯骨化症の調査 - 第 88 回 かきねの会 米原市 2015 4 4-5.
71. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二 . 当院胸部 CT 受験者からみた胸椎後縦靭帯骨化症の有病率 第 124 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 金沢市 2015 4 10-11 .
72. 杉浦 剛、長本行隆、松尾庸平ほか . リウマチ軸椎下頸椎の回旋運動時の 3 次元動態および椎間関節形態の検討 . 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
73. 牧野孝洋、海渡貴司、杉浦 剛ほか . 思春期特発性側弯症 (Lenke type1) における凸側凹側の椎体骨端輪骨化核の左右差 . 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
74. 松本富哉、奥田真也、前野考史ほか . 脊柱骨盤アライメント不良は PLIF 後隣接椎間障害を惹起する . 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
75. 柏井将文、杉浦 剛、牧野孝洋ほか . 骨粗鬆症性椎体骨折後遅発性麻痺の発生危険因子の検討 - 骨癒合群と遅発性麻痺群の比較検討 -. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
76. 山崎良二、奥田真也、山下智也ほか . 成人脊柱変形を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する単椎間固定術の患者立脚型満足度評価 . 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
77. 牧野孝洋、海渡貴司、杉浦 剛ほか . 骨未成熟な思春期特発性側弯症において後方矯正固定術が椎体の形態に与える影響 . 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
78. 岩崎幹季、前野考史、奥田真也ほか . 高齢者脊柱後側弯症に対する手術成績 . 第 44 回

日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）

79. 柏井将文、松尾庸平、杉浦 剛ほか．後縦靭帯骨化症患者における骨量と骨形成抑制蛋白 sclerostin との関連．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
80. 藤森孝人、小田剛紀、Serena Hu ほか．白人とアジア人における強直性脊椎骨増殖、後縦靭帯骨化、項靭帯骨化の有病率比較．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
81. 串岡純一、山下智也、奥田真也ほか．PLIF におけるトラネキサム酸の術中・術後出血に及ぼす効果．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
82. 岩崎幹季、奥田真也、前野考史ほか．成人脊柱変形に対する矯正手術-従来法の問題点と今後の展望-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
83. 奥田真也、山崎良二、山下智也ほか．PLIF 術後の隣接椎間障害-1000 例の追跡調査-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
84. 藤森孝人、奥田真也、山崎良二ほか．腰椎 JOA スコアと患者報告に基づく改善度の関係-PLIF 273 例の解析-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
85. 今釜史郎，胸椎後縦靭帯骨化症手術に関する多施設前向き研究，第 44 回日本脊椎脊髄病学会，（福岡）2015.
86. 小林祥，松山幸弘，川端茂徳，安藤宗治，寒竹司，高橋雅人，伊藤全哉，藤原靖，山田圭，和田簡一郎，木田和伸，山本直也，谷俊一，高リスク脊椎手術における Br (E) -MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究，第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会，2015.04.16-18
87. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二、松末吉隆．当院胸部 CT 受験者からみた広汎性特発性骨増殖症 (DISH) の有病率 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 福岡市 2015 4 16-18.
88. 校條 祐輔，高畑雅彦，頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧術の効果予測 -K-line に動的因子を加味した評価の必要性-，第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会（福岡）2015 .
89. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Clinical outcome of the lower limb lengthening using culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2015.4.29-5.2 (Atlanta)
90. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro. Meclozine promotes longitudinal bone growth in transgenic achondroplasia mice with gain-of-function mutation in FGFR3 gene. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2015.4.29-5.2 (Atlanta)
91. 岩崎幹季、藤森孝人、奥田真也ほか．高度占拠率頸椎 OPLL に対する後方除圧の限界とその対策．第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）



92. 奥田真也、山下智也、山崎良二ほか。高齢者に対する PLIF の合併症。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
93. 杉浦 剛、長本行隆、松尾庸平ほか。リウマチ軸椎下頸椎の生体内三次元動態解析。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
94. 藤森孝人、奥田真也、山崎良二ほか。腰椎 JOA スコア改善率は患者評価に基づく改善を反映するか-PLIF 273 例の解析-。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
95. 柏井将文、益原健太、牧野孝洋ほか。陳旧性環軸椎回旋位固定患児における環椎後頭関節病変の検討。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
96. 海渡貴司、藤原啓恭、牧野孝洋ほか。CBT 法 PLIF では従来法 PLIF と比較しケージ周囲の嚢腫形成を高頻度に合併する-前向き比較研究-。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
97. 今釜史郎。高度占拠率胸椎 OPLL に対する治療戦略」～後方除圧矯正固定術と後方進入脊髄前方除圧術。第 88 回日本整形外科学会学術総会（神戸）2015。
98. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、伊藤全哉、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一。高リスク脊椎手術における Br ( E ) -MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究。第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
99. 藤原靖、松山幸弘、小林祥、伊藤全哉、山田圭、齋藤貴徳、川端茂徳、寒竹司、和田簡一郎、安藤宗治、谷俊一。経頭蓋刺激筋誘発電位術中脊髄モニタリングを用いた脊髄髄内腫瘍摘出術の手術戦略 日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究：第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
100. 山田圭、松山幸弘、小林祥、長濱賢、田所 伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、関庄二、平尾雄二郎。病態別に見た側彎症手術の術中脊髄モニタリングのアラームポイントの検討 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループによる多施設前向き研究：第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
101. 芳賀信彦。成人骨系統疾患患者の診療から学ぶこと。第 88 回日本整形外科学会学術総会(パネルディスカッション「骨系統疾患の現状と展望(研究、診断、そして治療)」)。2015.5.21-24, 神戸
102. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二、松末吉隆。当院胸部CT受験者からみた広汎性特発性骨増殖症 ( DISH ) の有病率 第88回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2015 5 21-24 .
103. 八幡健一郎、小澤浩司。脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による VEGF 発現・血管新生の促進と運動・知覚機能の改善効果。第88回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2015 5 21-24 .
104. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹。骨系統疾

患の診断と治療-わが国の現状と展望-. 第 88 回日本整形外科学会 2015.5.21-24  
(神戸) パネルディスカッション

105. Koda M ほか. Randomized, Placebo-controlled, double-blinded trial of granulocyte colony stimulating factor-mediated neuroprotection for acute spinal cord injury. The 54<sup>th</sup> annual meeting of International Spinal Cord Society, Montreal, Canada, 2015.5.
106. Koda M, ほか. Outcome of posterior decompression with instrumented fusion for K-line (-) cervical ossification of the longitudinal ligament. The 31<sup>st</sup> annual meeting of Cervical Spine Research Society-European section, London, UK, 2015.5.
107. Fujii K, Abe T, Kubota S, Nakayama K, Miura K, Sankai Y, Yamazaki M Efficacy of Voluntary Driven Exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) in Patients with Chronic Cervical Spinal Cord Injury. 31st Annual Meeting, CSRS European Section (London), May, 2015
108. 中原康雄、吉川二葉、正田奈緒子、藤原清香、野村恵、小谷博史、真野浩志、井口はるひ、四津有人、野口周一、篠田裕介、芳賀信彦: 進行性骨化性線維異形成症患者における ADL・QOL の経時的評価. 第 52 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2015.5.28-30, 新潟
109. 宮崎 亮、前野考史、杉浦 剛ほか. 整復不能だった DISH を伴う腰椎椎体骨折. 第 51 回大阪骨折研究会 (平成 27 年 6 月大阪)
110. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Transplantation of culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma in lower limb lengthening for short stature patients. The 7<sup>th</sup> International Conference on Children's Bone Health 2015.6.27-30 (Salzburg)
111. Koda M. On-field acute management of spinal cord injury/transient quadriparesis. 2015.7. Spine Across the Sea, Hawaii, USA, 2015
112. 柏井将文、森本時光、北口和真ほか. 後縦靭帯骨化症患者における骨代謝マーカーと骨量の関連. 第 17 回日本骨粗鬆症学会 (平成 27 年 9 月広島)
113. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Transplantation of culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma during distraction osteogenesis of the long bones. 4<sup>th</sup> Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society. 2015.9.8-11 (Boston)
114. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 当院胸部 CT 受験者からみた広汎性特発性骨増殖症 (DISH) の有病率 第 125 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 名古屋 2015, 10, 2-3.

115. 岩崎幹季、柏井将文、松尾庸平ほか。 OPLL と骨形成抑制因子スクレロスチン。第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会（平成 27 年 10 月富山）
116. 久保田茂希、丸島愛樹、安部哲哉、藤井賢吾、俣木優輝、中山敬太、河本浩明、萩野谷歩、遠藤 歩、上野友之、羽田康司、菅谷 久、吉岡友和、山海嘉之、山崎正志、重度歩行障害を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツ HAL を用いたリハビリテーションの影響、第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会（富山）、10 月、2015.
117. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、鈴木健嗣、山崎正志、三次元動作解析と筋活動計測を同期させた歩行解析法の開発、第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会（富山）、10 月、2015
118. 八幡健一郎、小澤浩司ほか脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による血管新生の促進と軸索障害の抑制第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 富山、10 月、2015.
119. 内田研造、中嶋秀明、渡邊修司、他。脊髄損傷に対する間葉系幹細胞移植後の脊髄再生。第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会（シンポジウム、2015.10）、富山
120. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、山崎正志、首下がり症候群に対して三次元動作解析装置を用いた歩行解析研究、第 37 回臨床歩行研究会（熊本）、10 月、2015.
121. 奥田真也、山下智也、山崎良二ほか。 PLIF 術後の隣接椎間障害-1000 例の追跡調査-第 24 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（平成 27 年 11 月新潟）
122. 宮崎亮、山下智也、奥田真也ほか。 PLIF 後 ASD による脊柱変形に対するアライメント矯正術後早期に固定下位の破綻を生じた 2 例。第 24 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（平成 27 年 11 月新潟）
123. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、鈴木健嗣、山崎正志、三次元動作解析と筋活動計測を同期させた歩行解析法の開発、第 42 回日本臨床バイオメカニクス学会（東京）、11 月、2015.
124. 久保田茂希、安部哲哉、藤井賢吾、中山啓太、三浦紘世、山崎正志、胸椎後縦靭帯骨化症に伴う重度脊髄症を呈するロボットスーツ HAL を用いたリハビリテーション、第 50 回日本脊髄障害医学会（東京）、11 月、2015.
125. 藤井賢吾、安部哲哉、久保田茂希、門根秀樹、山海嘉之、山崎正志、脊柱靭帯骨化症に伴う上肢および下肢麻痺に対する HAL リハビリテーション【脊椎靭帯骨化症に関する調査研究】【後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】、平成 27 年度第 2 回班会議（東京）、11 月、2015.
126. 平野徹、頸椎後縦靭帯骨化症骨化巣進展の画像評価、平成 27 年度 第 2 回班会議 東京 2015, 11, 28
127. 森 幹士。OPLL、OLF は DISH の一部か？ - 胸部 CT study の結果より - 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「脊柱靭帯骨化症に関する調査研究」平成 27 年度 第 2 回班会議 東京 2015, 11, 28

128. 鬼頭浩史. 小児の下肢の発達について. 第 29 回日本靴医学会 2015.11.21-22 (名古屋) パネルディスカッション
129. 武臣真和, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志, HAL リハビリテーションを施行した胸椎黄色靭帯骨化症の術後遅発性脊髄障害の 1 例, 第 17 回茨城県脊髄・脊椎研究会 (つくば), 11 月, 2015.
130. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志, 関節疾患に対する HAL 単関節の臨床研究, 第 2 回つくばロボットスーツ HAL & CIME シンポジウム (東京), 12 月, 2015.
131. 藤井賢吾, 安部哲哉, 久保田茂希, 丸島愛樹, 中山敬太, 三浦紘世, 長島克弥, 中井啓, 松下明, 河本浩明, 門根秀樹, 五月女康作, 酒巻真由子, 清水如代, 羽田康司, 上野友之, 俣木優輝, 遠藤歩, 萩野谷歩, 山海嘉之, 山崎正志, 脊椎・脊髄疾患に対する HAL の臨床研究, 第 2 回つくばロボットスーツ HAL & CIME シンポジウム (東京), 12 月, 2015.
132. 竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋藍, 他. 圧迫性頸髄症に伴う慢性疼痛における血液脊髄関門を介した macrophage の動態. 第 8 回日本運動器疼痛学会 (2015.12), 名古屋
133. 鬼頭浩史. 整形外科領域における低ホスファターゼ症. 第 26 回日本整形外科学会 2015.12.4-5 (岐阜) ランチョンセミナー
134. Hiroshi Kitoh, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita. Treatment strategies for short stature in achondroplasia. International Joint Symposium Lund University & Nagoya University 2016.1.18 (名古屋)
135. 小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田 圭, 和田簡一郎, 田所伸郎, 山本直也, 谷 俊一 Br(E)-MsEP のアラームポイント策定は神経合併症を減らせたか? 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都.
136. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 寒竹 司, 小林 祥, 山田 圭, 山本直也, 和田簡一郎, 藤原 靖, 田所伸郎, 高橋雅人, 木田和伸, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 里見和彦, 四宮謙一, 谷 俊一 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における Br-MEP のアラームポイント 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
137. 山田 圭, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 小林 祥, 寒竹 司, 伊藤全哉, 和田簡一郎, 田所伸郎, 山本直也, 高橋雅人, 藤原 靖, 谷 俊一, 長濱 賢, 岩崎 博, 村本明生, 関 庄二, 平尾雄二郎, 大田 亮 脊柱変形矯正手術における経頭蓋電気刺激筋誘発電位による術中脊髄モニタリングのアラームポイントの検討. 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
138. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 寒竹 司, 山田 圭, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 木田和伸, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 高橋雅人, 四宮謙一, 里見和彦, 谷 俊一. 脊髄髄内腫瘍摘出における麻痺の持続期間に影響を与える術中脊髄モニタ

- リング因子の検討(日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究). 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
139. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、杉浦洋、北村暁子. 創外固定の問題点と対策-低身長症に対する大量骨延長術において- 第 29 回日本創外固定・骨延長学会 2016.3.18-19 (金沢) シンポジウム
  140. Kubota S, Abe T, Marushima A, Fujii K, Nakayama K, Miura K, Shimizu Y, Sugaya H, Yoshioka T, Sankai Y, Yamazaki M A new rehabilitation technique using the robot suit HAL for patients with severe myelopathy due to thoracic ossification of posterior longitudinal ligament (OPLL). The 62th annual meeting, ORS (Orlando, FL), March, 2016
  141. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 有病率からみた胸椎靭帯骨化症の関連性 - 胸部 CT データ解析結果から 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 浜松市 2016 4 8-9 .
  142. 大川 淳, 吉井 俊貴, 猪瀬 弘之, 平井 高志, 山田 剛史, 加藤 剛, 川端 茂徳, 坂井 顕一郎, K-line(-)の頸椎 OPLL では前方骨化浮上法が第一選択術式である, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
  143. 前野考史、岩崎幹季、奥田真也ほか. 成人脊柱変形に対する固定下端の検討 - 固定下端を L5 とした症例の中長期経過観察より. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  144. 柏井将文、長本行隆、牧野孝洋ほか. 神経筋原性側弯症に対する矯正術後の矢状面アライメント変化 - 仙尾骨のアライメントの X 線学的検討 - .第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  145. 川上紀明、岩崎幹季、朝妻孝仁ほか. 側方アプローチによる腰椎椎体間固定 (LLIF): 初期導入から 2 年間における合併症調査の報告 .第 45 回日本脊椎脊髄病学会(平成 28 年 4 月千葉)
  146. 藤森孝人、渡辺直史、岩本康男ほか. 全脊柱 CT を使用した脊柱靭帯骨化の有病率調査 . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  147. 山下智也、奥田真也、杉浦 剛ほか. Revision PLIF の治療成績 - 神経合併症に注目して - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  148. 山崎良二、有賀健太、奥田真也ほか. 腰部脊柱管狭窄症の逃避姿勢が脊椎骨盤 X 線パラメーターに与える影響. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  149. 奥田真也、山下智也、杉浦 剛ほか. PLIF 術後の隣接椎間障害 - 文献 review - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
  150. 杉浦 剛、奥田真也、松本富哉ほか. 腰椎変性すべり症に対する腰椎開窓術の手術成績 - 神経症状再発の病態と危険因子の検討 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)

151. 小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田 圭, 和田簡一郎, 田所伸朗, 山本直也, 谷 俊一. 防ぎ得た麻痺の根絶にむけて - この 10 年間の JSSR モニタリング多施設研究成果より . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市 シンポジウム
152. 山田 圭, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 和田簡一郎, 寒竹 司, 田所伸朗, 岩崎博, 関 庄二. 脊柱変形手術による神経障害機序の検討 ~ 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究 ~ . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市
153. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 寒竹 司, 小林 祥, 山本直也, 和田簡一郎, 山田圭, 田所伸朗, 木田和伸, 藤原 靖, 高橋雅人, 川端茂徳, 四宮謙一, 里見和彦, 谷俊一. 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における Br-MEP のアラームポイント ~ 8 年越しの検討 ~ . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市 シンポジウム
154. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 寒竹 司, 山田 圭, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 木田和伸, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 高橋雅人, 谷 俊一. 脊髄内腫瘍摘出術における麻痺の持続期間に影響を与える因子の検討 (日本脊柱脊髄病学会多施設共同前向き研究). 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市
155. 岩波明生, 西村空也, 平井高志, 吉井俊貴, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靭帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた前縦靭帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靭帯骨化病研究班・多施設研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会; 2016 Apr 14-16; 千葉.
156. 平井 高志, 吉井 俊貴, 坂井 顕一郎, 新井嘉容, 鳥越 一郎, 友利 正樹, 谷山 崇, 佐藤 浩一, 大川 淳. Modified K-line を用いて脊髄前方クリアランスが 4mm 未満の大きな脊髄前方圧迫がある頸椎症性脊髄症に対しての前方法と後方法の治療成績の比較, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
157. 吉井俊貴, 平井高志, 岩波明生, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靭帯骨化症患者における項靭帯骨化の併存と脊椎靭帯骨化傾向との関連性 - 厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・多施設 CT 研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会; 2016 Apr 14-16; 千葉.
158. 吉井 俊貴, 平井 高志, 坂井 顕一郎, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 加藤 剛, 川端 茂徳, 新井 嘉容, 大川 淳, 走行型術中 CT を使用した頸椎椎弓根スクリュー挿入 fluoroscopy 側面透視下挿入との精度の比較, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
159. 吉井俊貴, 平井高志, 山田剛史, 猪瀬弘之, 加藤剛, 大川淳, A prospective comparative study in surgical preparation solutions for posterior spine surgeries: Chlorhexidine-gluconate ethanol vs povidoneiodine, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉

160. 猪瀬 弘之, 齋藤 正徳, 山田 剛史, 平井 高志, 吉井 俊貴, 加藤 剛, 川端 茂徳, 大川 淳, 後縦靱帯骨化症の進展・発生に關与する遺伝子の検索, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
161. 牛尾 修太, 川端 茂徳, 角谷 智, 請川 大, 加藤 剛, 吉井 俊貴, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 榎本 光裕, 大川 淳, 脊磁計による健常成人の馬尾神経活動の非侵襲的機能評価, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉
162. 森 幹士, 吉井俊貴, 平井高志, 岩波明生, 竹内一裕, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靱帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた棘上・棘間靱帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会 ; 2016 Apr 14-16 ; 千葉 .
163. 岡田英次郎, 岩波明生, 渡辺慶, 檜山明彦, 中川幸洋, 竹内一裕, 松永俊二, 圓尾圭史, 坂井顕一郎, 吉井俊貴, 小林祥, 大場哲郎, 和田簡一郎, 大谷隼一, 大川淳, 松本守雄 びまん性特発性骨増殖症に伴った脊椎損傷 -厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究- 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016 年
164. 森 幹士, 西澤和也, 中村 陽, 卞 栄満, 今井晋二. 後縦靱帯骨化症や黄色靱帯骨化症はびまん性特発性骨増殖症か? 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 幕張市 2016 4 14-16.
165. 國府田正雄ほか. 頸髓症手術の超長期成績:20 年以上フォロー. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016 年 4 月 14 日~16 日 幕張
166. 國府田正雄ほか. C8 神経根障害による下垂指症例の検討. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016 年 4 月 14 日~16 日 幕張
167. T Yoshii, T. Hirai, A Iwanami, K Takeuchi, K Mori, A Okawa, Y Kawaguchi., Co-existence of Ossification of the Nuchal Ligament is Associated with Hyperostosis in the Whole Spine in Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament, CSRS-AP2016,2016/4/21, seoul, Korea
168. Masao Koda ほか. More than 20 years follow-up of surgery for cervical myelopathy. 8th Annual Meeting of Cervical Spine Reserch Society Asia Pacific Section 2016 年 4 月 21 日~23 日 Seoul, Korea.
169. T. Hirai, T Yoshii, A Iwanami, K Takeuchi, K Mori, T Yamada, S Nishimura, M Matsumoto, M Nakamura, A Okawa, Y Kawaguchi. Incidence and Distribution of Ossified Lesions in the Whole Spine of Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament - A Multicenter Study, CSRS-AP2016,2016/4/21, seoul, Korea.
170. 久保田茂希, 原友紀, 久保匡史, 清水如代, 山崎正志, 腕神経叢損傷に対する上肢単関節 HAL を用いたリハビリテーションの試み第 59 回日本手外科学会(広島), 4 月, 2016.
171. Kawaguchi Y. Choice of surgery in OPLL-How to deal with the surgical

- complications?. 43rd Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 2016 May 16-20; Singapore.
172. Kato S, et al. Anterior decompression via a posterolateral approach for ossification of posterior longitudinal ligament in the thoracic spine. SpineWeek 2016 2016. 5. 16-20. Singapore.
173. 吉井 俊貴, 平井 高志, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 川端 茂徳, 大川 淳, 脊椎後方手術における術野消毒液の検討 前向き比較試験, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜
174. 平井 高志, 吉井 俊貴, 岩波 明生, 竹内 一裕, 森 幹士, 中村 雅也, 松本 守雄, 大川 淳, 川口 善治, 頸椎後縦靭帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた全脊椎後縦靭帯骨化の評価 厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・多施設研究, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜.
175. 吉井俊貴、平井高志、山田剛史、猪瀬弘之、加藤剛、川端茂徳、大川淳, A prospective, randomized study comparing selective laminectomy and conventional laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜.
176. 藤森孝人、渡辺直史、岩本康男ほか. 全脊柱 CT を使用した脊柱靭帯骨化の有病率調査 . 第 89 回日本整形外科学会学術集会 (平成 28 年 5 月横浜)
177. 小林 祥 . 術中脊髄モニタリングによる神経合併症の予防 . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15, 横浜市 シンポジウム
178. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 寒竹 司, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 谷 俊一 . 脊髄髄内腫瘍摘出術における麻痺の持続期間に影響を与える因子の検討 (日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究) . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15 横浜市
179. 山田 圭, 松山幸弘, 小林 祥, 岩崎 博, 関 庄二, 伊藤全哉, 山本直也, 川端茂徳, 寒竹 司, 和田簡一郎, 田所伸朗 . 脊椎変形手術による神経障害機序の検討 - 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究 - . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15 横浜市
180. 岩波明生, 西村空也, 平井高志, 吉井俊貴, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治 . 頸椎後縦靭帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた前縦靭帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・多施設研究 - . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 ; 2016 May 12-15 ; 横浜 .
181. 今釜 史郎「胸椎後縦靭帯骨化症の手術成績～多施設前向き研究」, 第 89 回日本整形外科学会学術総会 (横浜) 2016
182. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、宍 栄満、今井晋二. 後縦靭帯骨化症/黄色靭帯骨化症はびまん性特発性骨増殖症か? 第 89 回日本整形外科学会学術総会 横浜市 2016



5 12-15 .

183. 國府田正雄ほか. 頸髄症の病態と治療 既治療者の加齢による変化 . 第 89 回日本整形外科学会学術集会. 2016 年 5 月 12 日~5 月 15 日、横浜
184. 國府田正雄ほか. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子神経保護療法 医師主導治験. 第 89 回日本整形外科学会学術集会. 2016 年 5 月 12 日~5 月 15 日、横浜
185. Ikumi A, Kubota S, Shimizu Y, Kadone H, Hada Y, Yamazaki M Use of robot suit HAL in rehabilitation of chronic spinal cord injury (Tetraplegia, neurological level C4): a case report 10th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (ISPRM) (Kuala Lumpur, Malaysia), May 29-June 2, 2016
186. 吉井俊貴, 頸椎後縦靭帯骨化症による頸髄損傷, 第 30 回 日本外傷学会, 2016/5/30, 御茶ノ水.
187. Masao Koda ほか. Randomized, placebo-controlled, double blinded trial of G-CSF-mediated neuroprotection for SCI. 2016 National Neurotrauma Society Annual Symposium 2016 年 6 月 26 日~29 日 Lexington, USA.
188. Kawaguchi Y. Operative strategy in the treatment of OPLL. AOSpine Masters Symposium - OPLL & Cervical degeneration; 2016 Jun 5; Beijing.  
菅谷久, 吉岡友和, 久保田茂希, 門根秀樹, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志変形性膝関節症術後患者に対するロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
189. 中原康雄、遠藤佐知子、澤田佑介、真野浩志、井口はるひ、遠藤聡、野口周一、四津有人、吉川二葉、藤原清香、篠田裕介、芳賀信彦: 進行性骨化性線維異形成症患者における身体機能の経時的評価. 第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016.6.9-11, 京都
190. 清水如代, 久保田茂希, 門根秀樹, 羽田康司, 遠藤歩, 上野友之, 河本浩明, 丸島愛樹, 山崎正志 上肢単関節 HAL による機能回復治療を行った C4 頸髄損傷四肢麻痺の 1 例 第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
191. 久保田茂希, 清水如代, 原 友紀, 門根秀樹, 菅谷 久, 吉岡友和, 羽田康司, 山崎正志 肋間神経移行術が施行された腕神経叢損傷上位型麻痺に対する上肢単関節 HAL を用いた機能回復治療第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
192. 中嶋秀明. 脊髄再生・疼痛. 第 38 回日本疼痛学会 (2016.6) 札幌  
吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志変形性膝関節症術後患者に対するロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性 JOSKAS (福岡), 7 月, 2016.
193. 森 幹士. 後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症 ~ 病気の理解と治療、日常生活で注意すること ~ 滋賀県東近江保健所難病医療講演会 米原市 2016 7 3

194. 吉井俊貴, 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療 - 術式選択 -, 北大脊椎脊髄外科セミナー2016, 2016/7/15, 札幌.
195. 吉井俊貴, 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療 - 合併症とその対策 -, 北大脊椎脊髄外科セミナー2016, 2016/7/15, 札幌.
196. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 重度脊髄障害例に対してロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療における歩行時筋活動の解析 第 34 回日本ロボット学会学術講演会 (山形), 9 月, 2016.
197. 前野考史, 松本富哉, 山下智也ほか. 頸椎 OPLL に対する術後復職調査. 第 5 回おおさか脊椎カンファレンス (平成 28 年 9 月大阪)
198. 中嶋秀明, 渡邊修司, 本定和也, 他. 脊髄間葉系幹細胞移植は疼痛関連シグナルおよび炎症細胞浸潤抑制を介して脊髄損傷後疼痛抑制に寄与する. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
199. 杉田大輔, 中嶋秀明, 竹浦直人, 他. ヒト頸椎 OPLL 骨化巣における mechanical strain と Ihh signaling の発現に関する検討. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
200. 竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋 藍, 他. 慢性圧迫脊髄における MRI 輝度変化と血液脊髄関門の透過性変化. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
201. 高橋 藍, 中嶋秀明, 本定和也, 他. 脂肪由来幹細胞と骨髄由来幹細胞のストレス耐性比較および脊髄損傷に対する治療効果. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
202. 本定和也, 中嶋秀明, 高橋 藍, 他. CCL21 欠損マウス脊髄損傷モデルにおける疼痛関連評価および損傷部・腰膨大部の microglia/ macrophage phenotype と炎症性サイトカインの評価. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
203. 北出 誠, 中嶋秀明, 渡邊修司, 他. ラット脊髄損傷における microglia の [<sup>11</sup>C]-PK11195 による PET イメージング. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
204. 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 箭原康人, 牧野紘士, 北島 勲, 木村友厚. 後縦靱帯骨化症における血清バイオマーカー. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2016 Oct 13-14; 福岡.
205. 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 箭原康人, 牧野紘士, 北島 勲, 木村友厚. 後縦靱帯骨化の伸展と高感度 CRP の関連. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2016 Oct 13-14; 福岡.
206. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山海嘉之, 山崎正志 重度脊髄障害例に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療の効果の解析第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会 (福岡), 10 月, 2016.
207. 高畑雅彦 頸椎椎体骨密度分布の異常から推定される頸椎後縦靱帯骨化症の進展のメ

- カニズム．小甲晃史，高畑雅彦，他．第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡）2016．
208. 牧原武史，門根秀樹，大西信三，久保田茂希，羽田康司，清水如代，山崎正志 ロボットスーツ HAL 単関節タイプを用いた肩肘リハビリテーション - 健常者を対象とした安全性，妥当性評価 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016
209. 久保田茂希，安部哲哉，清水如代，門根秀樹，藤井賢吾，羽田康司，菅谷久，吉岡友和，山海嘉之，山崎正志 重度歩行障害を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016．
210. 俣木優輝，六崎裕高，鎌田浩史，岩崎信明，水上昌文，竹内亮子，中川将吾，和田野安良，山崎正志 脳性麻痺児に対するロボットスーツ HAL 使用の即時効果 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016
211. 國府田正雄ほか． 脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いた神経保護療法． 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会 2016 年 10 月 13 日～14 日、福岡
212. 清水如代，門根秀樹，羽田康司，出井裕司，岸本圭司，久保田茂希，上野友之，山崎正志 小児期の Rotationplasty 症例に対する義足作製・歩行解析第 32 回日本義肢装具学会学術大会（札幌），10 月，2016．
213. 平井高志、吉井俊貴、猪瀬弘之、山田剛史、江川 聡、加藤 剛、大川 淳，頸椎症性脊髄症に対する前方除圧固定術と椎弓形成術の前向き比較研究 - 術後 10 年 長期報告 臨床、画像成績の比較，第 25 回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会，2016/10/28，長崎．
214. 江川 聡、吉井俊貴、猪瀬弘之、平井高志、山田剛史、川端茂徳、大川淳，頸椎多椎間前方除圧固定術後の軟部組織腫脹に関する検討 - 頸椎後縦靭帯骨化症と 他疾患の比較 - ，第 25 回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会，2016/10/28，長崎．
215. 藤井賢吾，藤井賢吾，安部哲哉，船山 徹，野口裕史，中山敬太，三浦紘世，熊谷洋，久保田茂希，山崎正志 胸椎 OPLL に伴う重度脊髄障害に対する後方除圧固定術 + ロボット歩行訓練による新たな治療 第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（長崎），10 月，2016178．
216. 今釜史郎「胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧矯正固定術後に脊髄前方除圧術を要する因子～自験例の検討」，第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会、長崎、2016
217. 國府田正雄ほか． 頸椎後方手術が頸椎矢状面バランスに及ぼす影響：脊柱管拡大術と後方除圧固定術の比較． 第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2016 年 10 月 28 日～29 日 長崎
218. 吉井俊貴，頸椎 OPLL に対する前方法の有用性，第 51 回 日本脊髄障害医学会，2016/11/10，幕張．

219. 藤井賢吾, 安部哲哉, 久保田茂希, 船山徹, 山崎正志 胸椎後縦靱帯骨化症に伴う重度脊髄障害に対する後方除圧固定術+ ロボット治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
220. 三浦紘世, 門根秀樹, 安部哲哉, 遠藤寛興, 村上秀樹, 山崎正志 ショベリング除雪反復動作におけるロボットスーツ HAL の腰部負荷軽減効果第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
221. 久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志 頸椎術後 C5 麻痺に対する上肢単関節 HAL を用いた機能回復治療第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
222. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 重度脊髄障害例に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療の歩行時筋活動解析 第 51 回日本
224. 山内駿介, 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 羽田康司, 山崎正志 脊髄硬膜動静脈瘻を発症した慢性期脊髄損傷患者に対する HAL による機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
223. 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 慢性期頸髄損傷四肢麻痺患者に対する上肢単関節 HAL による機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
224. 清水如代, 門根秀樹, 羽田康司, 山崎正志 成人期脳性麻痺患者に対する HAL を用いた機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
225. 森 幹士. 胸椎靱帯骨化症の有病率調査 ~身近な臨床研究のヒントを求めて~. 第 12 回信州整形外科放射線科勉強会 長野市 2016 11 11.
226. 安部哲哉, 藤井賢吾, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷洋, 野口裕史, 船山徹, 久保田茂希, 門根秀樹, 山崎正志 胸椎 OPLL による重度脊髄障害に対する後方除圧固定術に続く装着型ロボット HAL を用いた歩行訓練の効果【脊椎靱帯骨化症に関する調査研究】【後縦靱帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】平成 28 年度第 2 回合同班会議(東京), 11 月, 2016
227. T Yoshii, T Hirai, K Sakai, A Okawa, K Shinomiya., A Prospective Comparative Study in Skin Antiseptic Solutions for Posterior Spine Surgeries: Chlorhexidine-Gluconate Ethanol Vs. Povidone-Iodine, 2016 CSRS, 2016/11/30, Toronto, Canada.
228. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志 人工膝関節置換術後急性期におけるロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性第 47 回日本人工関節学会(沖縄), 2 月, 2017
229. 國府田正雄ほか. 脊髄損傷急性期の臨床評価ガイドライン作成: 薬事承認審査のために. 第 16 回日本再生医療学会 2017 年 3 月 7 日~9 日 仙台
230. 小林嵩弘, 野口裕史, 安部哲哉, 船山徹, 熊谷洋, 長島克弥, 三浦紘世, 藤井賢吾,

- 山崎正志 重度脊髄症を呈する頸胸椎後縦靱帯骨化症に対してロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療を行った 1 例 第 57 回関東整形災害外科学会(東京), 3 月, 2017
- 231 . Fujii K, Abe T, Kubota S, Marushima A, K, Kawamoto H, Sankai Y, Yamazaki M  
Voluntary driven exoskeleton Hybrid Assistive Limb for postoperative therapy of cervical and thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament. 8th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, (Kobe, Japan), March, 2017
232. Masao Koda ほか. Clinical outcome of drop finger caused by C8 nerve root impairment. 8<sup>th</sup> Annual Meeting of Cervical Spine Reserch Society Asia Pacific Section 2017 年 3 月 9 日 ~ 11 日 Kobe, Japan
- 233 . Kimura A, Takeshita K, Shiraishi Y, Inoue H, Endo T, Okawa A. Fall-related Deterioration of Subjective Symptoms in Patients with Cervical Myelopathy. AAOS 2017 Annual Meeting, San Diego, CA
- 234 . Matsushita M, Kitoh H, Mishima K, Sugiura H, Hasegawa S, Kitamura A, Ishiguro N, Ohno K. Clinically feasible dose of meclozine promotes bone growth in mouse model with achondroplasia. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2017.3.19-22 (San Diego)